

旧東方村中村家住宅

旧東方村中村家住宅とは



ひがしかた
旧東方村中村家住宅はもと武蔵国埼玉郡八条領東方村(越谷市大成町)にあったもので、東方村下組の名主を勤めた中村家の旧宅です。

おし
東方村は元禄11年(1698年)に幕府領から忍領に組み入れられ、近隣の見田方、南百、四条、別府、せんびき、むぎつか、かきのき、千疋、麦塚、柿ノ木の各村とともにはいはんちけんまで忍領となっていました。中村家の記録『中村家系譜』によると、旧東方村中村家住宅は安永元年(1772年)に建築されたと記されており、現存し、建築年代の確認できるものでは越谷市最古の住宅と言われています。

当住宅は家人の生活の必要のため、ところどころに増改築がされていますが、江戸時代における村役人の家の構造を今に伝える貴重な建造物といえます。



利用案内

- 開館時間** ● 午前9時から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** ● 水曜日(祝日の場合は、直後の平日休館)
12月29日から1月3日まで
- 入館料** ● 一般：100円/小・中学生：50円
小学校未就学児：無料

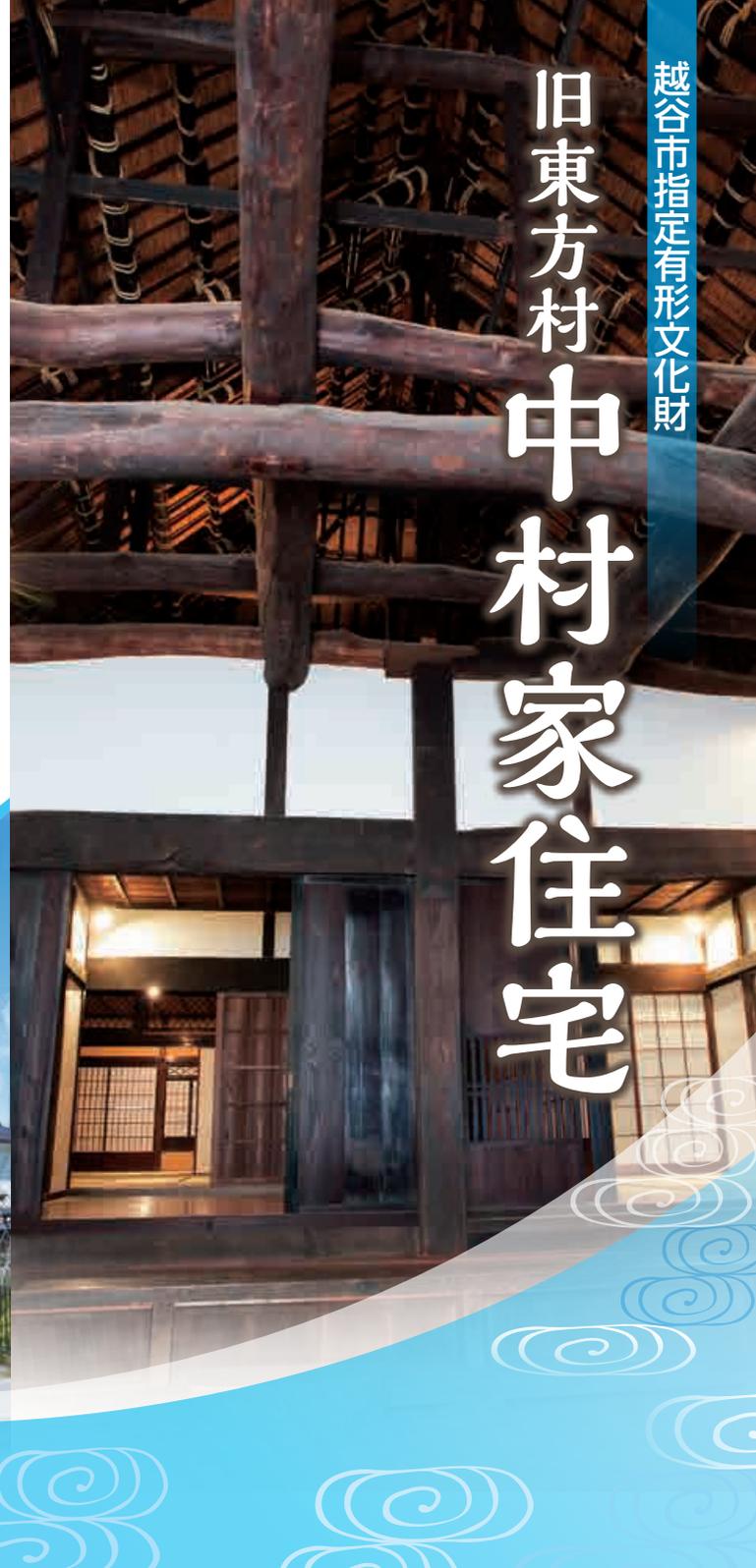
交通案内



電 車 ● JR武蔵野線「越谷レイクタウン駅」北口より徒歩15分
駐車場 ● 隣接する湖畔の森公園駐車場12台、専用駐車場20台

越谷市指定有形文化財
旧東方村中村家住宅

住所 ● 〒343-0828 埼玉県越谷市レイクタウン九丁目51番地
電話 ● 048-986-7051





玄関の間より、広間・奥の間・入側を眺める



板戸
韓信の股くぐり

納戸の奥にも部屋があり、その部屋に行くための廊下でもあった。



龍は水とかかわりが深いので、火除けの意味があった。

元治元年(1864年)以降、増築された。



土間



奥の間

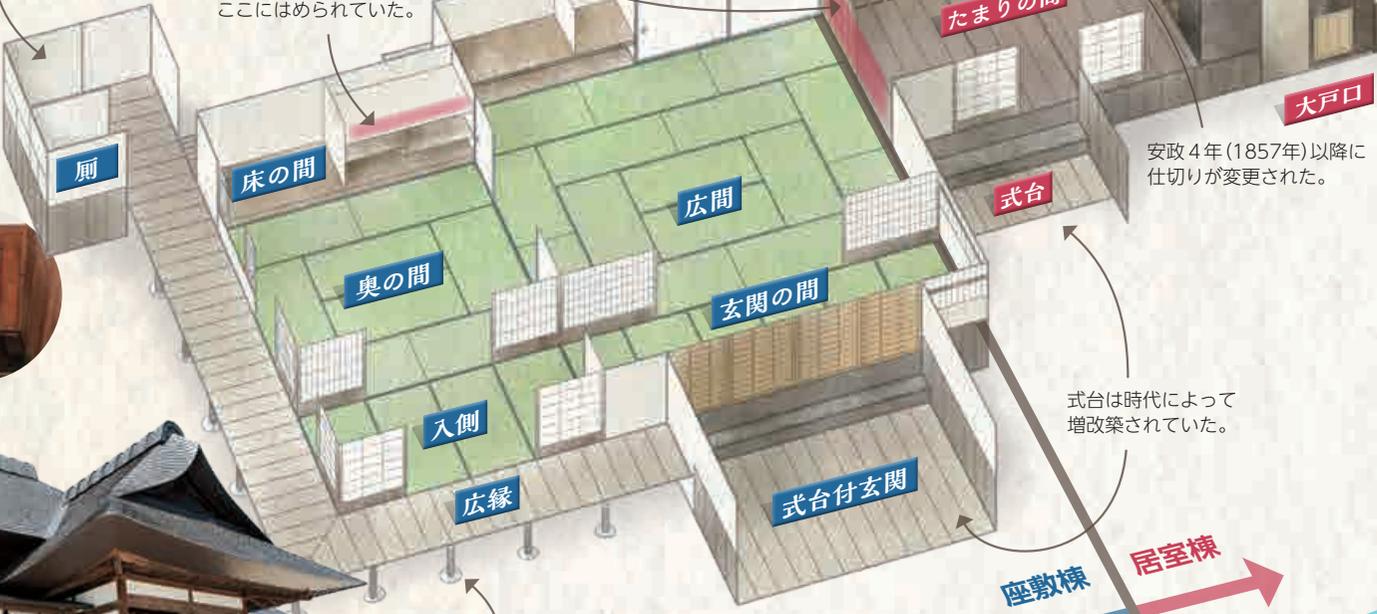
韓信の股くぐりの板戸は、ここにはめられていた。

ここが、浴室だったことがある。

納戸に展示してある天袋の袋戸は、ここにはめられていた。



廁



安政4年(1857年)以降に仕切りが変更された。

江戸時代の文化・文政(1804~1830年)頃から、元治元年(1864年)の間に増築された。

式台は時代によって増改築されていた。

元治元年(1864年)頃この位置に井戸があった。

市への寄贈前は浴室だったが、現在は物置。



茅葺き屋根 模型



ジオラマ



大戸口



礎石



昔を伝える展示室

主屋以外の施設

受付棟…中村家に関する資料を展示しています
昔を伝える展示室…市内出土の考古資料を展示しています

座敷棟 居室棟

たまりの間より、茶の間・納戸を眺める

